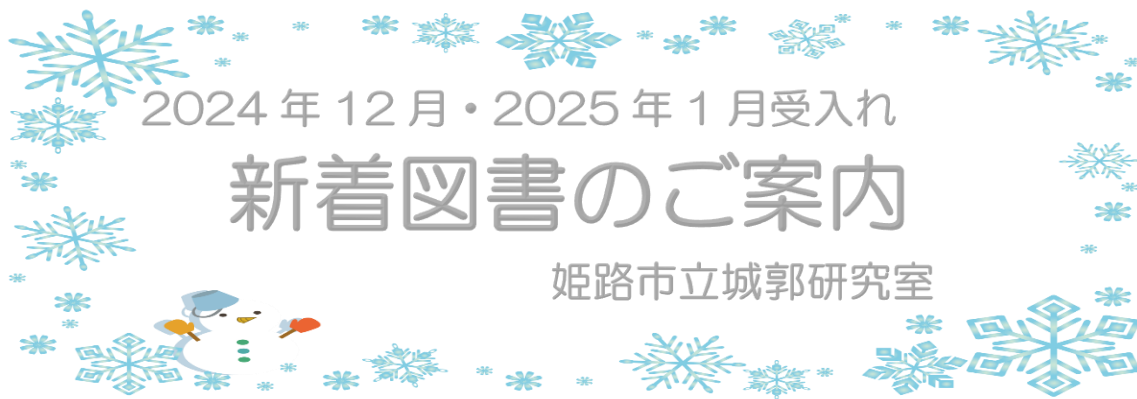




2024 年 12 月・2025 年 1 月受入れ

新着図書のご案内

姫路市立城郭研究室

「探訪大和の古城」

大和古文化研究会/編
星雲社

「北条五代と家中の武装」

竹村雅夫
宮帯出版社

「内藤実記」

内藤政武
えにし書房

「幕末明治旗本困窮記」

西川武臣
山川出版社



「歴史の建築意匠」

西田雅嗣
昭和堂

「天正記」の復原的研究

中村博司/編
和泉書院

「鬼と鯨」

宇陀市教育委員会

「BanCui No.134 2025 冬号

播磨の日本遺産」

姫路市文化国際交流財団
神戸新聞総合出版センター

「本瓦葺の技術」

井上新太郎
彰国社

「日本建築史序説」

太田博太郎
彰国社

「民家は生きてきた」

伊藤ていじ
美術出版社

「日本建築の美」

伊東忠太
誠文堂新光社



「社寺建築の工法」

佐藤日出男
理工学社

「藩学建築」

城戸久
養徳社



今月のおすすめ本紹介！！

「城 姫路城昭和の修理に従事して」「築城後の修理からみた姫路城」「姫路城の建築」

西村 吉一

かつて昭和の大修理工事に従事した西村吉一氏が、1990年代に関西城郭研究会で行った講演会を基に作成された小冊子です。実際に工事に従事した技師の目線で話が繰り広げられる、貴重な資料です。昭和の大修理から60年を迎えた今日、今一度昭和の大修理を振り返ってははどうでしょう。阪神淡路大震災の被災を受け、被災後の様子から考察する姫路城の構造と地震との関係に関する見解は非常に面白く、注目に値すると思います。



「日本建築小史」

天沼 俊一

明治から昭和期にかけて活躍した建築史家、天沼俊一による一冊。日本建築史について未だ体系化がなされていない時代に、全国各地の古建築の現地調査を行い、初めて日本建築の通史をまとめた人物になります。本書は、天沼俊一が京都大学で行った講義を基に作成されたもので、日本建築の様式について細部にいたるまで、各時代の特徴の違いを簡潔にまとめています。出版された時代が古く、難読な文字が多々ありますが、絶版本であり歴史的にも貴重な一冊です。一読すれば建築歴史の基本がわかり、歴史的建造物の見所がわかると思います。

- ※ 上記の図書は、日本城郭研究センター2階 城郭資料特別閲覧室にて閲覧していただけます。
- ※ 貸し出しはしていません。
- ※ 開室時間は、月曜日から金曜日 9:00～12:00 13:00～17:00
- ※ 土、日曜日・休日・年末年始は閉室しています。
- ※ 上記の図書以外にも姫路城や姫路の歴史に関する蔵書など貴重な書物がたくさん収蔵していますので、興味のある方は、是非お越しください。
- ※ 城郭研究室への問い合わせ先及びホームページは、下記のとおり。



姫路市立城郭研究室（日本城郭研究センター2階）

TEL 079 (289) 4877

URL <https://www.city.himeji.lg.jp/jyokakuken>